

第8回（平成18年度第2回）
かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成18年7月28日（金） 14時00分～

○場所：鹿児島市役所東別館11階 1101会議室

1 開 会

2 報 告

（1）副会長について

（2）第7回（平成18年度第1回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について

（3）第7回（平成18年度第1回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）

（4）第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等について

3 協 議

（1）テーマ協議

（主）観光・コンベンション、農林水産業

（副）商工業、交通ネットワーク

（2）その他協議

4 その他

5 閉 会

かごしままちづくり会議委員名簿

(平成18年5月23日現在)

職 名 等	氏 名	摘 要
鹿児島大学法文学部教授	宮 廻 甫 允	会長
日本ガス株式会社専務取締役	津 曲 貞 利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西 園 登	
桜島地域まちづくり会議会長	時 村 悟	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府 健 司	
松元地域まちづくり会議会長	四 元 泰 盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐 島 諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩 元 純 吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡 本 阜 八	
鹿児島市生活研究グループ	武 千世子	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず理事長	永 山 恵 子	
鹿児島市教育委員	奈良迫 ミチ子	
南日本出版株式会社取締役	西 みやび	
公募委員	前 田 真 理	
公募委員	山 本 敬 生	

第8回(平成18年度第2回)かごしままちづくり会議資料

	ページ
1. 第7回(平成18年度第1回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況	1
2. 第7回(平成18年度第1回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況 (全市的な事項)	2~3
3. 第8回(平成18年度第2回)地域まちづくり会議等について	4~13

第7回（平成18年度第1回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	郡山の高齢者福祉センターについて、合併前はある程度柔軟な利用ができていたが、現在は、高齢者でなければ利用できない等の制限のため、利用者が少ない。実情に合わせた既存施設の有効活用を検討してほしい。	2	健康福祉局	全ての高齢者福祉センターは、鹿児島市高齢者福祉センター一条例施行規則により、高齢者と児童のふれあいを図る等高齢者福祉に資すると認められるような例外を除いて、18年4月から使用者の範囲を65歳以上（老人クラブ会員は概ね60歳以上）の高齢者としているので、理解いただきたい。	3
2	市電軌道敷の緑化について、芝生が傷むことが考えられるが、どのような対応をするのか。	2	建設局	鹿児島中央駅前電停の軌道敷内の芝生管理を通じて、考えられる芝生の損傷については、夏場の乾燥や電車利用者による踏圧などがある。その中で、夏場の乾燥については、無降雨が2週間程度連続した場合に散水を行うことで、また、踏圧については、芝生表面の整地と砂の散布で対応できるものと考えている。	5

第7回（平成18年度第1回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	松元	火災予防に対して、一人住まい、老人世帯への啓発を地域と行政が一体となり取り組む必要がある。	2	消防局	これまで地域における火災予防体制を高めるため、町内会単位による地域防火協力を育成し、初期消火や119番通報、又適切な避難の方法などの防火思想の普及啓発に努めている。松元地域においても合併後において、地域一体となった高齢者等にかかると火災予防にも配慮し防火協力の育成指導に努め、現在12団体が結成され、松元分遣隊や地域消防団とも連携しながら地域の火災予防活動に努めている。今後においては、さらに防火協力が未結成の地域に対する育成指導を進めるとともに、防火協会などと連携して住宅用火災警報器等の設置指導など高齢者に対する火災予防対策を進めることとしている。	1
2	松元	犯罪を未然に防ぎ、子供の安全を確保するため防犯カメラの設置が必要である。また、ソフト面として校区公民館など、地域で防犯組織を結成し防犯パトロール隊などで対応する必要がある。	2	市民局	本市としては、現在のところ防犯カメラの設置は考えていないが、地域での安全確保に係る自主的な活動を支援するため、パトロール用品を支給して、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援しているところである。また、地域の要望に応じて指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。	1
3	松元	消費生活センターの相談窓口が、必要を迫られる17時以降や、土・日曜日は対応がされていないので、窓口の時間を考慮して行く必要がある。	2	市民局	消費生活相談については、現在、午前9時から午後5時までとなっているため、それ以外の時間帯は、相談電話の留守番機能において、土日及び緊急の相談窓口の電話番号をお知らせするとともに、クーリング・オフ期間やホームページを案内し、対応しているところである。	1

第7回（平成18年度第1回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	松元	悪徳商法等に対するわかりやすい情報提供や情報交換が必要で、対応の仕方についても地域と一体となり広報する必要がある。	2	市民局	合併後、旧五町地域の温泉保養施設等において、パネル展を開催しているほか、出張講座により啓発を行っている。今後、さらに各地域における消費者啓発を充実させるため、地域に根ざした啓発活動を展開してまいりたい。	2
5	郡山	既存施設の有効利用については、鹿児島市行政改革大綱の「市民の立場に立った行政運営を推進します」「スリムで機動的な行政運営を推進します」「市民生活や社会に優しい行政運営を推進します」「市民の目線でものを考え、態度やコスト意識等について慣例にとらわれず、社会や時代の要請に応えることのできる意識の改革を進めます。」といった方針を踏まえ、地域の実情に合わせた柔軟な利用ができるような検討をお願いしたい。特に「高齢者福祉センター郡山」については、前回会議での意見に対して鹿児島市では高齢者の利用（高齢者との交流活動を含む）に限定している旨の回答があったが、既存の施設の有効活用という面からは、空いている場合には他の団体の使用も認めてほしい。	2	健康福祉局	全ての高齢者福祉センターは、鹿児島市高齢者福祉センター条例施行規則により、高齢者と児童のふれあいを図る等高齢者福祉に資すると認められるような例外を除いて、18年4月から使用者の範囲を65歳以上（老人クラブ会員は概ね60歳以上）の高齢者としているので、理解いただきたい。 また、地域福祉館は、地域公民館など他のコミュニティ施設や公共施設の設置状況や利用状況、人口の集積状況、地形などの地理的條件等を踏まえ、概ね1中学校区に1館という基本方針に基づき、建設している。 郡山地域については、今後、郡山地区の人口の張り付き状況等に変化が生じた場合は、諸条件を勘案しながら、福祉館の整備の必要性を総合的に検討していきたい。	3

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
開催日時	平成18年7月11日(火) 14:00~16:30	平成18年7月10日(月) 9:30~12:00	平成18年7月12日(水) 14:00~16:30	平成18年7月12日(水) 14:00~16:10	平成18年7月11日(火) 14:00~16:50
開催場所	吉田福祉センター2階会議室	桜島支所2階大会議室	マリニピア喜入八幡温泉保養館 2階第1会議室	松元支所3階大会議室	郡山支所3階会議室
出席者数	委員15人	委員14人	委員14人	委員15人	委員14人
議題	1 関係 2 (1) 前回会議における意見等の検討状況 (2) 意見・提言等の協議 <各会議の協議テーマ> 防災、福祉	観光、農林水産業	交通網の整備促進 農業・観光振興	人と自然にやさしい快適なまち 住宅、住環境、生活道路、水道など	子どもの安全対策、福祉、農業、 自治会活動、行政サービスなど
会議内容	(3) その他 3 閉会	観光、農林水産業	交通網の整備促進 農業・観光振興	人と自然にやさしい快適なまち 住宅、住環境、生活道路、水道など	子どもの安全対策、福祉、農業、 自治会活動、行政サービスなど
主な意見等 1	道路に、開発現場(土取場)から雨が降るたびにシラスが流れ出て、雨の降るたびに調査して、指導してもらいたい。	湯之平展望所は、夜景をはじめ展望台からの眺望がすばらしく、桜島観光のポイントと思うが、観光シーズンには駐車場が不足し、また、高齢者や体の不自由な方等が、展望台の所まで上がれなかつたとの話を聞くので、駐車場からも市街地が展望できるように、眺望を遮る樹木の伐採や、車椅子でも利用可能な展望台やトイレを設置するなど、バリアフリー対策を含めた駐車場の拡大整備を進め、高齢者等をはじめ多くの観光客が利用しやすい施設づくりを推進する必要がある。	国道226号線のバイパス道路として、農免道路や平川動物公園を通ってJRの五位野駅付近に通じるような新しい道路はできないだろうか。バイパス道路ができると、災害発生時に国道が不通になった場合の迂回路になるほか、市の中心部から離れている喜入地域との間の距離が縮まるなど大きな効果が見込まれると考えられる。	直木住宅、ガーデンヒルズ松陽台の公営住宅の建設は、地域の活性化と住宅の安定供給のため、計画に基づき確実に進めていく必要がある。	高齢者福祉センターについては、旧鹿原市と郡山では利用率に大きな差があると思われるので、その運用に考慮しては地域の事情に応じた対応を施すこともいいのではないかと考えている。既存の有効活用という面でも、前回の意見に対しては、この面でも、規則で決まったりするところがあると、必要があれば条例や規則は改正すればよいことである。また、郡山には中学校が一つだけあり、人口の推移を見れば、郡山は人口が減少している。郡山には地蔵堂という施設があり、必要があれば、地蔵堂を有効に活用するなどの知恵を絞っていただきたい。
2	防災行政無線を各校区公民館で放送できる設備は設置できないものか。	湯之平展望所へ行く手堅な交通手段がないので、観光客の多い時期や、夏場に夜景を見るための直行バスを運行してはどうか。	台風や高波により国道226号線が利用できなくなることや瀬々串から中名にかけての景観保持を考えると、国道226号線を拡幅するよりも農免道路から慈眼寺までつながるバイパスを整備した方がいいのではないか。	石谷団地の販売状況を見てもなかなか厳しいように思えるが、地域の活性化を図るためにも売り出しを積極的に進める必要がある。	河川への降り口がないという意見はこれまでも述べたが、8・6水害で甲斐川は激甚災害の指定を受けている。河原、伊敷の辺りは非常にいい。それに比べて郡山地域は鹿原市の水がめ、水源であるのに、敷払いに降り口を整備していただきた。以前、前を準備して「管理者である。県に要請していきたい。」旨の回答があったが、その後の市の回答が、その後の市の要請や回答の状況を踏まえてご回答いただきたい。

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

<p>区分</p>	<p>吉田地域まちづくり会議</p>	<p>桜島地域まちづくり会議</p>	<p>喜入地域まちづくり会議</p>	<p>松元地域まちづくり会議</p>	<p>郡山地域まちづくり会議</p>
<p>3</p>	<p>旧吉田時代は、蒲生・始良からは、東佐多町・西佐多町は、迅速な対応がなされた。現在、吉田分遣隊から出動するので、合併前に比べ対応が速い。合併体制の改善を図ってほしい。</p>	<p>溶岩なぎさ遊歩道の中には、トイレや展望所、広場などのすばらしい施設があるが、遊歩道入り口の看板の情報が不十分である。シャワー施設の整備などさらに施設の充実を図り、溶岩なぎさ遊歩道一帯を海を介して遊べる地域として活用できないか。また、溶岩なぎさ遊歩道は距離が長いので、海づり公園の管理事務所にレンタルサイクルを導入して観光客の利用促進を図るべきである。</p>	<p>国道226号線は平川まで拡幅工事をしているが、そこが完成しても喜入の旧市まで広げなければ渋滞緩和として十分ではない。平川から喜入までつなげるバイパス道路を通すことは必要だと思う。また、道路をつくることは行政が大きく関わってくるので、自分たち地域も要望を行うことが必要ではないか。</p>	<p>春山地域の宅地造成に伴う住宅建設等により流域、流量の増加が生じている。この地区は平坦地であり流末処理に苦慮しているところである。ことから、雨水処理に対応できる排水機能を高い側溝の整備を図る必要がある。</p>	<p>旧町時代からの懸案事項である上谷口土地区画整理事業は、依然として厳しい状況にある。既に計画している所が徐々に実施をしなければならぬという状況の中、頭出しできないというのが今日の状況であるが、地域の中心地の活性化を図る上からも計画どおり推進していく必要がある。</p>
<p>4</p>	<p>住宅用火災警報機の設置が義務化されるが、公民館で一括購入を希望しているが、購入後それよりも安い値段になったら困る。</p>	<p>桜島に宿泊してもらおう一つの手段として、ケイレ湾(鳥島展望所南側)の入り江のところにヨットハーバーを整備したいと思う。旧鹿見島市街地に住む人から、船を所有したい人が保留場所の確保が課題である。クルージングや釣りなどの船を使うのにレジャーや、桜島へ来る際に、フェリーで車を渡してこられるなどの経済効果も期待できると思う。</p>	<p>国道226号線は平川まで拡幅工事をしているが、そこが完成しても喜入の旧市まで広げなければ渋滞緩和として十分ではない。平川から喜入までつなげるバイパス道路を通すことは必要だと思う。また、道路をつくることは行政が大きく関わってくるので、自分たち地域も要望を行うことが必要ではないか。</p>	<p>春山地域の宅地造成に伴う住宅建設等により流域、流量の増加が生じている。この地区は平坦地であり流末処理に苦慮しているところである。ことから、雨水処理に対応できる排水機能を高い側溝の整備を図る必要がある。</p>	<p>旧町時代からの懸案事項である上谷口土地区画整理事業は、依然として厳しい状況にある。既に計画している所が徐々に実施をしなければならぬという状況の中、頭出しできないというのが今日の状況であるが、地域の中心地の活性化を図る上からも計画どおり推進していく必要がある。</p>
<p>5</p>	<p>地域パトロール隊を立ち上げたいが、事件の抑止力の一つになっていると思う。地域でそういう心構えを必要とする必要がある。</p>	<p>溶岩なぎさ遊歩道は距離が長いので、海づり公園の管理事務所にレンタルサイクルを導入して観光客の利用促進を図るべきである。</p>	<p>国道226号線は平川まで拡幅工事をしているが、そこが完成しても喜入の旧市まで広げなければ渋滞緩和として十分ではない。平川から喜入までつなげるバイパス道路を通すことは必要だと思う。また、道路をつくることは行政が大きく関わってくるので、自分たち地域も要望を行うことが必要ではないか。</p>	<p>春山地域の宅地造成に伴う住宅建設等により流域、流量の増加が生じている。この地区は平坦地であり流末処理に苦慮しているところである。ことから、雨水処理に対応できる排水機能を高い側溝の整備を図る必要がある。</p>	<p>旧町時代からの懸案事項である上谷口土地区画整理事業は、依然として厳しい状況にある。既に計画している所が徐々に実施をしなければならぬという状況の中、頭出しできないというのが今日の状況であるが、地域の中心地の活性化を図る上からも計画どおり推進していく必要がある。</p>

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

<p>区分</p>	<p>吉田地域まちづくり会議</p>	<p>桜島地域まちづくり会議</p>	<p>喜入地域まちづくり会議</p>	<p>松元地域まちづくり会議</p>	<p>郡山地域まちづくり会議</p>
<p>6</p>	<p>地域でお互いに連携を取りながら安全な地域づくりを進めていく必要がある。</p>	<p>今ある自然や既存の施設を活かすことも大切なことだが、女性の立場としては、滋賀県の長浜や湯布院、軽井沢のように女性の好きなお店が連なっている所をいろいろお物を見て歩くというのも旅の楽しみに若い人が興味を示すようなお店の集台施設のようなものを作れば桜島に足を運んでくれる人が増えると思う。</p>	<p>JR指宿枕崎線で中央駅発五位野駅止まりの列車があるが、喜入地域住民の利便性を考慮していただきたき。また、市の総合計画の中で「JRを中心に強化」を掲げていること踏まえ、五位野駅止まりの列車について喜入駅まで伸ばすようJRに対し要望できないか。</p>	<p>飲料水については、生活に必要な可欠なものであることから、平田・内田地区の飲料水供給施設の早期公営化を図る必要がある。</p>	<p>合併して1年半を過ぎ、支所になつて不便を感じているというようない見も前から出ているが、合併のメリットも出てきたところがある程度出てきたという点も考慮しながら、その方法として住民の意見を取り上げるとしてはどうか。</p>
<p>7</p>	<p>台風時は、住民の申し出で避難所を設置するようになつてはいるが、行政が早めに設置し、避難指示を住民へ出してほしい。</p>	<p>地域資源を活用するために一番重要なのは人材だと考える。案内する人、ボランティアを集めるコーディネーター、企画をする人など、人の活用や育成を鹿原島市も推進してほしい。NPO法人桜島ミュージアムとしても、人材の育成に力を入れてほしい。</p>	<p>グリーン・ツーリズムに関する様々な情報について、行政が積極的に集落（町内会）を通じ市民に周知することが大切である。</p>	<p>水質汚濁防止を図るため、浄化槽の普及推進と適切な維持管理を推進する必要がある。</p>	<p>「合併して行政が四角四面になつた」という意見が出るまに「頼みにくく、合併してからも結論が出るまで声を聞く。また、「条例規則で決まっていかにあわないう場合も多いが、実情を意見に対しては、市民の立場に立って、改訂ができていないものか、あるいは何かできないものか、そういったことを少しも考えているから回答もできるというふうな行政側とこれほどに頭を悩ましていたとき、これが旧町時代と非常に差を感じてい</p>

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
10	平成16年3月に作成された吉田町防炎マップに、山腹直撃危険地域や急傾斜地域危険箇所、避難場所等詳しく掲載されていたが、合併後新たに鹿原市の防災マップが作成されるのか。また、作成されるときは、わかりやすく、活用しやすいように見直していただき、各家庭へ配付してほしい。	現在桜島を観光するには車が必要だが、観光客にとって車の航送料は負担が大きいの、車の航送料の値下げ、あるいは、手軽にバスを利用し、鹿原島の県営駐車場等を長時間無料で使えるようにするなどして、車を利用する観光客の負担軽減や利便性の向上を図る必要がある。	マリニアピア喜入内に四季折々の地産産品を販売するコーナーが必要ではないか。	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
11	吉田地域では町内会で河川清掃作業を実施しているが、河川の土砂堆積と葦の除去について土木事務所から直接依頼した方が除去しても望まない。また、是非市からも河川へ降りる場所が少なく、清掃作業時に苦慮している。もし子どもも軽装した場合は降りて助けることも出来ないので、降りる場所を何箇所か設置してほしい。	観光客から、桜島を一周して観光すると何時間かかるのか、桜島は島なのか、一周何キロあるのかなどをよく聞かれる。観光案内板のドマップについても、記載内容の充実と常に新しい情報を載せる工夫をする必要がある。	生見海水浴場の現在の施設は老朽化しており、水洗トイレや海上いかになど施設の整備が必要である。また、人を呼ぶためのイベントが必要である。		現在、健康交流促進財団が指定管理者として創出している。もし今の財団が指定管理者として創出しているならば、指定管理者としての職員の確保を方々からお願いしたい。
12	牟礼町の遊歩道が開通したが、山入りに駐車場が無く、道路脇に通行にも支障をきたしている。また、駐車場の整備が必要である。望む頂上から鹿原島や始良などを望む絶景は素晴らしいので、公園として整備してほしい。	各部署が連携して袴腰周辺を観光地として活性化してほしい。1つの例としては、恐竜公園下の海軍基地の跡は文学作品桜島の舞台となつたところでもあるので、文学遺産としての価値もある。また、その隣に庚申塔の跡についても、教育委員会で非常にいい管理されている。海軍基地の跡についても、教育委員会、公園緑化課、県とも連携して、文化財の指定や、東屋、説明板の設置、草刈を行うなど観光に活用してほしい。	休耕地を活用した農業農村体験については、村づくり重点地区を活用する方策があるのではないか。		合併前に行政補助金のありきで、行政から平成19年度まで、各種団体の1年間の活動になる。横断的な連携が、合併前の活動の必要を生かす。合併後の活動は、合併前の活動の必要を生かす。合併後の活動は、合併前の活動の必要を生かす。

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

区分	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
18	<p>吉田地域まちづくり会議</p> <p>バス停のベンチは県道しかないと言いが、内門、二本松と堀之内のバス停に屋根付きの待合室を設置している。ひと言申し添えたい。</p>	<p>桜島地域まちづくり会議</p> <p>赤水梁石場跡地は、モニュメントを上手く活用するの良いが、なぜここでコンサートを行ったかという、桜島のダイナミックさやパワーを感ずる場所であるという部分を上手く活用してほしい。</p>	<p>喜入地域まちづくり会議</p>
19	<p>高齢者福祉バスがあるが、希望者が多く利用できない。台数は増やせないものか。</p>	<p>大隅半島の観光地の整備・振興を県に働きかける必要がある。</p>	<p>郡山地域まちづくり会議</p> <p>文化協会から商工会に引き継いだ夏まつりも、誰が主催でもいいからとにかく続けようという気持ちでこれまでやってきたが、商工会も合併問題等を抱える中で、これまでもお祭りについてはいくつかの厳しい状況がある。夏祭りについては旧鹿角市市のやり方を見ると、補助金をそれほど貰っていないとか、地域の祭だからというだけで自治会が主体となると、今後もしもやるといふような形を戻ると、今後もしもやるといふのは、やはりそういう形なのかなと思う。だからこの夏祭りやいろいろなイベント、催し物について、これからのあり方検討委員会みたいなものを作って、各種団体が一緒になって、これからはどうしていくべきかということ、みんなで揉んでいくべきではないかと思ふ。そこに何か一つ夢があったら、楽しかったら続けていけると思う。</p>
20	<p>産業廃棄物処分場は許可時点におおろろはなす所などないものか。現状を調査して指導を徹底していただきたい。</p>	<p>南岳の昭和火口付近が新たに人口を開いたが、安全性とかの課題もあると思うが、施設整備をするなりして観光に活用できないか。</p>	<p>鹿角市の農業委員については、来月4月に公選委員が30名になる。そうすると合併した地域からは公選の委員がいなくなるのが危惧されるので、今後、見直しについて協議していく必要があると感じている。</p>
18	<p>赤水梁石場跡地は、モニュメントを上手く活用するの良いが、なぜここでコンサートを行ったかという、桜島のダイナミックさやパワーを感ずる場所であるという部分を上手く活用してほしい。</p>	<p>大隅半島の観光地の整備・振興を県に働きかける必要がある。</p>	<p>郡山地域まちづくり会議</p> <p>文化協会から商工会に引き継いだ夏まつりも、誰が主催でもいいからとにかく続けようという気持ちでこれまでやってきたが、商工会も合併問題等を抱える中で、これまでもお祭りについてはいくつかの厳しい状況がある。夏祭りについては旧鹿角市市のやり方を見ると、補助金をそれほど貰っていないとか、地域の祭だからというだけで自治会が主体となると、今後もしもやるといふような形を戻ると、今後もしもやるといふのは、やはりそういう形なのかなと思う。だからこの夏祭りやいろいろなイベント、催し物について、これからのあり方検討委員会みたいなものを作って、各種団体が一緒になって、これからはどうしていくべきかということ、みんなで揉んでいくべきではないかと思ふ。そこに何か一つ夢があったら、楽しかったら続けていけると思う。</p>
19	<p>高齢者福祉バスがあるが、希望者が多く利用できない。台数は増やせないものか。</p>	<p>大隅半島の観光地の整備・振興を県に働きかける必要がある。</p>	<p>郡山地域まちづくり会議</p> <p>文化協会から商工会に引き継いだ夏まつりも、誰が主催でもいいからとにかく続けようという気持ちでこれまでやってきたが、商工会も合併問題等を抱える中で、これまでもお祭りについてはいくつかの厳しい状況がある。夏祭りについては旧鹿角市市のやり方を見ると、補助金をそれほど貰っていないとか、地域の祭だからというだけで自治会が主体となると、今後もしもやるといふような形を戻ると、今後もしもやるといふのは、やはりそういう形なのかなと思う。だからこの夏祭りやいろいろなイベント、催し物について、これからのあり方検討委員会みたいなものを作って、各種団体が一緒になって、これからはどうしていくべきかということ、みんなで揉んでいくべきではないかと思ふ。そこに何か一つ夢があったら、楽しかったら続けていけると思う。</p>
20	<p>産業廃棄物処分場は許可時点におおろろはなす所などないものか。現状を調査して指導を徹底していただきたい。</p>	<p>南岳の昭和火口付近が新たに人口を開いたが、安全性とかの課題もあると思うが、施設整備をするなりして観光に活用できないか。</p>	<p>鹿角市の農業委員については、来月4月に公選委員が30名になる。そうすると合併した地域からは公選の委員がいなくなるのが危惧されるので、今後、見直しについて協議していく必要があると感じている。</p>

平成18年第2回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
24					自治会活動について、各面からの情報提供や助言を含めたい。また、自治会を設けていただきや成功・先進事例の紹介など情報提供していただきたい。
25					地域内で実施される各種イベントや催し物の情報が乏しくなった。何かの方法で周知を図ることはできないか。
26					「不用品譲ります。譲ってください。」「い。」「と。」「といったような掲示ボードを校区公民館など人の集まる公共的な場所に設置できないか。
27					国が真営農の政策を打ち出しているが、面積規模等の認可要件に当てはまらないものに対する市独自の施策をお願いできないか。
28					ニュースポーツの大会や体験会等を開催していただけないか。またそれがスパランド裸楽良や総合運動場の利用増につなげるような取り組みもできないものか。
29					スパランド裸楽良で環境フェスタ（リサイクルフェア、催しをして、ケットなど）のようないか。
30					遊休農地の活用を図るために、「農地の持ち主と農業者の視察・研修」な流れ「地域と行政が協力してモデル的な取り組み」など事例紹介していただきたい。